

## 再挑戦！！

2023年、船橋市議会議員選挙に初挑戦し、結果は落選。「最初で最後の挑戦」と自分では考えていました。ですからその後は、「子ども達のため」の活動を中心に地域活動に取り組んでいました。

そういった日々の中でやっぱりこう思います。「より多くの子供達、市民のために！と考えたら市政に働きかける方が良いな」と。また「友人や知人、私の周りの人々の声を届け、形にするにはそれを遂行できる立ち位置の人間になるしかないな」と。それとやはり、「船橋のために。より素敵な街となった船橋を次の世代に残したい」、この想いが私の根底から消え去る事はありませんでした。

そして結果、「市政への再挑戦」を決意しました。

人生既に折り返し地点を過ぎた私です。（現在47才）。大げさでも冗談でもなく、この世に何を残すか、そう考える事が増えて来ました。

その時私の中で辿りつく答えは決まって「船橋への恩返し」という言葉なんです。両親が生き、私が生まれ育ち、我が子が育つ街・船橋。その船橋を本当に「いい街」にしたい。

だから…

## 船橋市政に再挑戦！！



## 選挙に行こう！！！！

と言って投票率が上がるなら、もうとっくに日本のあらゆる選挙の投票率はあがっているのかもしれませんが。

「選挙？興味ありません「選挙に行ったら何か変わりますか？」こう言ったご意見も、正直分からなくもありません。

「投票率は低い、状況も別に変わらない」そんな状況は皆さん経験済なワケです。では、「投票率がめっちゃくちゃ上がったなら何が起こるのか」ここを経験してみたくはありませんか？少なくとも私は経験してみたい。

船橋市議会議員選挙のここ3回の投票率は37→34→34%と推移、これが50,60,70…%となったら、船橋市が一体どんな街になるのか。ワクワクしてきませんか？

市民の皆さんのその手には、ご自身や周りの大切な・大好きな人の未来が少なからず握られています。ご自身やその人たちの未来のために、選挙に行きませんか？

自分の未来は、自分の住む街の未来は、自分で決めませんか？議員は民意の代弁者、代行者だと思っています。流行りの言い方をするならば、議員は市民のアバターでしょうか。であるならば、より多くの市民が参加した選挙で議員は選ばれるべきではないでしょうか。いえ、選ばれるべきです！



## 真っ当に！！

市政を志したきっかけの1つ。皆さんは実際の船橋市議会を傍聴に行ったことはありますか？

私は数年前に行った際に議会中の議員を見て悲しく、寂しく、怒りすら覚えた事を今でもよく覚えています。

「この場所に、この人たちに、俺や子ども達の未来を託せるのか・・・」大げさではなく、当時の私は本当にそう思いました。

また前回の政治活動や選挙活動を経験した中で、「グレーゾーンがあればそこを避けてホワイトゾーンへ！ではなく、どこまでブラックに近い形で活動出来るか！という思考なの？」と思う機会のなんと多かった事か。

前回の市政挑戦で思い知りました。想いや気持ちだけで議員にはなれない事を。でも、想いや気持ちの無い議員・議会に皆さんは自分や家族の未来を託せますか。私は託せません。何ら恥じる事のない形、真っ当な形での活動を通じ、市民と向き合える人間でありたい。

議会をもっと真剣な場所に、議員をもっと愛される仕事に。議員はもっと市民全体のために。

そぶあすか後援会発行  
討議資料

